

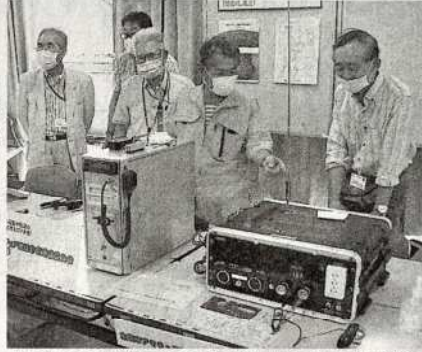
第6回いこま環境フェスティバル出展

於：生駒市上町”北コミュニティセンター/ISTA はばたき
2020/9/28 朝日新聞奈良版朝刊で紹介されました。

IAEは今年2月、市内のアマチュア無線愛好家約20人で発足。市民から市に向けて、きめ細かな被害状況を無線で伝達して防災

大災害時に周りの被害状況を役所に伝える仕組み作りを取り組む「生駒市アマチュア無線非常通信協力会」(IAE)が27日、同市上町で開かれた「いこま環境フェスティバル2020」に出展。停電時でも使える自作の充電式通信機などを展示して活動をアピールした。

環境フェス出展 活動をアピール



自作の可搬式通信機器や電源装置(手前)を展示して入会を呼びかける生駒市アマチュア無線非常通信協力会のメンバーら＝生駒市上町

生駒市アマチュア無線非常通信協力会

に役立ててもらおうのが目的だ。会員は10人ほど増え、引き続き若い人たちの入会を呼びかけている。

この日は、出展ブースに太陽光パネルからも充電できるラジオ付き電源装置や無線装置などを展示。いずれも会員が自作し、来場者を前に通信のデモンストレーションもした。

IAEは、交信範囲が狭いハンディー型の無線機でも情報が届くよう、リレーで伝えるネットワーク作りや中継設備の設置などを検



討中。会長の杉江久男さん(66)は「まず、アマチュア無線に興味をもってほしい」と話している。(伊藤誠)